

科学・技術分野で女性研究者が 活躍するための四つの条件



主催：日本女性科学者の会
和光市教育委員会
独立行政法人理化学研究所

日時：2005年3月26日(土)

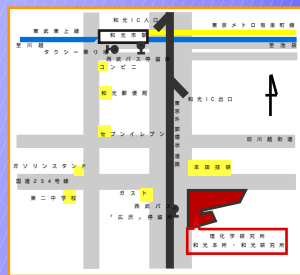
10:00 ~ 17:00

場所：独立行政法人理化学研究所
和光キャンパス
鈴木梅太郎ホール

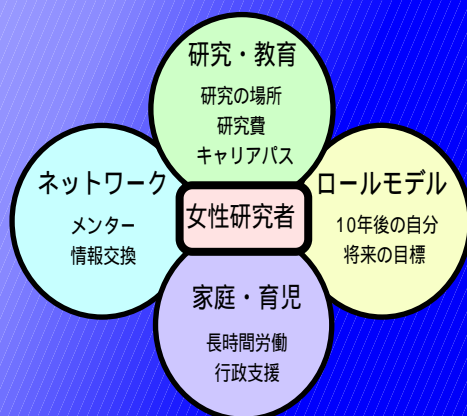
埼玉県和光市広沢2-1 TEL 048-462-1111

<http://www.riken.jp>

東武東上線・地下鉄有楽町線 和光市駅下車
徒歩15分



参加費無料
託児所あり



問い合わせ先：実行委員会事務局
TEL 048-462-1111 (内線3002)

文部科学省・女性の社会参画支援促進事業 シンポジウム

午前の部 10:00-10:40 (司会 大島 範子)

主催者挨拶

日本女性科学者の会 会長・
東海大学総合科学技術研究所 教授
独立行政法人理化学研究所 理事

佐々木 政子
大熊 健司

特別講演

日本学術会議と男女共同参画

日本学術会議 会長

黒川 清

午前の部 10:50-12:20 (司会 遠山 嘉一)

基調講演

男女共同参画学協会連絡会の活動について

男女共同参画学協会連絡委員会 委員長

相馬 芳枝

科学技術人材と男女共同参画

文部科学省 科学技術・学術政策局 基盤政策課長

榎原 裕二

男女共同参画社会基本法と科学技術

内閣府・男女共同参画局 参事官

塩満 典子

理化学研究所における男女共同参画の現状

独立行政法人理化学研究所 総務部長

大河内 真

主催者挨拶

和光市における男女共同参画 和光市長

野木 実

午後の部 13:20-15:00 (司会 大坪 久子・吉祥 瑞枝)

基調講演

応用物理学会の男女共同参画に対する取り組み

東京大学大学院工学研究科 助教授

近藤 高志

生理学会の男女共同参画推進のためのネットワーク作り

名古屋大学環境医学研究所 教授

水村 和枝

分子生物学の分野における男女共同参画のとりくみ

東京大学分子細胞生物学研究所 助教授

伊藤 啓

理化学研究所の男女共同参画実施例

理化学研究所・分子ウイルス学研究ユニットリーダー

間 陽子

女性が組織を変える

毎日新聞・科学環境部 記者

元村 有希子

質疑応答 15:30-16:40

パネルディスカッション (司会 菅原 美子)

話題提供：研究職採用制度と男女共同参画

独立行政法人産業技術総合研究所

澤田 美智子

提言・閉会宣言 16:40-16:50

独立行政法人理化学研究所 研究員

尾崎 美和子

懇親会 17:30-20:00 (司会 濱中 すみ子・谷田 聖)

会費 一般 3,000円 ポスドク・学生 1,000円

共催：男女共同参画学協会連絡会（正式加盟学会：応用物理学会、化学工学会、高分子学会、電子情報通信学会、日本宇宙生物科学会、日本化学会、日本原子力学会、日本細胞生物学会、日本女性科学者の会、日本植物生理学会、日本数学会、日本生化学会、日本生態学会、日本生物物理学会、日本生理学会、日本蛋白質科学会、日本天文学会、日本動物学会、日本発生生物学会、日本比較内分泌学会、日本物理学会、日本分子生物学会、日本森林学会、日本神経科学学会；オブザーバー学会：映像情報メディア学会、自動車技術会、照明学会、情報処理学会、精密工学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、地盤工学会、電気化学会、日本データベース学会、日本液晶学会、日本応用磁気学会、日本火災学会、日本機械学会、日本金属学会、日本建築学会、日本女性技術者フォーラム、日本鉄鋼協会、日本分析化学会）

連携団体：独立行政法人国立女性教育会館